

第 79 回国民スポーツ大会実施要項（柔道競技）の変更について（2025 年 6 月 3 日）

頁	変 更 前	変 更 後
143	4 競技上の規程及び方法 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程で行う。 (2) 試合時間は4分とし、勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。 (3) チーム間の勝敗決定方法 ア <u>勝者数</u>の多い方を勝ちとする。 イ アで同等の場合は、「一本勝ち」（それと同等の勝ちを含む）による<u>勝者数</u>の多いチームを勝ちとする。 ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝利数の多いチームを勝ちとする。 エ <u>ウで同等の場合は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦により、勝敗を決する。（先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。）また、「引き分け」の対戦がない場合は、「両者反則負け」等で勝敗が決していない対戦の中から1組を選出する。</u> <u>なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。</u>	4 競技上の規程及び方法 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程で行う。 (2) 試合時間は4分とし、勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり・有効）がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。 (3) チーム間の勝敗決定方法 ア 勝利数の多い方を勝ちとする。 イ アで同等の場合は、「一本勝ち」（それと同等の勝ちを含む）による勝利数の多いチームを勝ちとする。 ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝利数の多いチームを勝ちとする。 エ ウで同等の場合は、「有効」による勝利数の多いチームを勝ちとする。「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦により、勝敗を決する。（先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。）また、「引き分け」の対戦がない場合は、「両者反則負け」等で勝敗が決していない対戦の中から1組を選出する。 なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。 オ エで同等の場合は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦により、勝敗を決する。（先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。） また、「引き分け」の対戦がない場合は、「両者反則負け」等で勝敗が決していない対戦の中から1組を選出する。 なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。